

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 4年 6月28日	作成部局名	都市整備部	担当部局名		
-----	-------------	-------	-------	-------	--	--

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち	担当課	都市交通課	
		担当課		
		担当課		
施策	24 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進	関係課		
		関係課		
		関係課		
施策の目的	市内外を結ぶ公共交通の利便性を高め、市民の誰もが公共交通機関を利用して、快適に移動できる環境を整えます。			

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み	交通対策事務費
取り組み	コミュニティバス運行事業
取り組み	自転車駐車場管理事業
取り組み	
取り組み	
取り組み	
取り組み	

3. 施策の指標における成果 (主な指標) <CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				当初値	R3	R4	R5	R6	R7
tocoバス利用人数	tocoバスの年間利用者数	人	370,000	367,996	289,715				
市内3駅駅前自転車駐車場の満車回数	駅前自転車駐車場満車回数(一時利用) (誰もが使用できる状態を維持)	回	0	0	0				
公共交通機関の利便性向上の満足度	利便性向上に満足している市民の割合 (市民意識調査)	%	30	28.3	31.4				
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>市内公共交通の重要な手段である路線バスとtocoバスが、競争を極力排除しながら、運行維持していく必要があるが、tocoバスの乗客数の増加が路線バスの乗客数の減少につながる側面があり、安定的な公共交通網の維持に向けた対策が求められている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者数は減少し、公共交通事業者の経営にも大きな影響が生じている。このような状況下においても、通勤・通学、生活の手段として公共交通を維持していかなければならず、公共交通事業者への支援が求められる。</p>	対応策	<p>公共交通は市民の移動手段として欠かせないものであることから、利便性の向上に努めるとともに、維持するために必要となる支援を継続していく。また、今後の新型コロナウイルスの感染状況や公共交通の利用データ等を踏まえ、市内公共交通網の見直しに向けた一体的な検討を行っていく。</p>
----	--	-----	---

